

「内航船舶の代替建造を促進するための方策について」概要

内航海運を取り巻く現状

代替建造が進まない現状

内航船舶の少子高齢化

新規建造数 325隻(平成 5年度)→46隻(平成16年度)
船齢14年以上の老朽船比率 55%(平成16年度)→75%(平成20年度(推計))

内航船建造造船所数の減少

93社(平成 5年度)→24社(平成16年度)

このまま放置すると…

代替建造の停滞に伴って生じる問題

効率性・環境など社会的要請に応えた安定輸送が困難
造船所など他の海事産業も含め連鎖的衰退
内航からトラックへの逆モーダルシフトの懸念

物流効率化、環境等の社会的要請に応えられる船舶への
代替を安定的・計画的に進めるための対策が必要

施策の基本的方向性

産業物資キャリアの代替建造促進対策

問題点

オーナーの資金確保能力の問題
オーナーが将来展望を描けない状況
船価の上昇、船台確保の困難等

対策

中核となる船舶の安定的・計画的な代替建造の促進

- ・グループ化、協業化による経営基盤強化
- ・オペレーターの積極的な関与
- ・安定的・計画的な発注確保のためのスキーム整備

標準化された船舶による効率的な運航体制整備

- ・船種、船型毎に船型等の仕様の標準化を推進
- ・省力化効果に応じた合理的な運航体制の検討

内航海運関係者の連携強化に向けた取組み

一般の志望者も対象とした内航船員養成等の検討
建造の中核となる設計コンサルタントの育成・活用等
燃費の優れた船舶に「省エネ船等」の格付け付与

暫定措置事業の着実な実施等

暫定措置事業の円滑かつ着実な実施
暫定措置事業の運営方法見直しの検討

内航ユニットロード輸送に係る対策

内航ユニットロードネットワークの形成

- ・ユニットロードの玄関口にふさわしい施設整備
- ・シームレスな情報システムの構築等の検討
- ・企業間のアライアンスの推進によるネットワークの充実

内航フィーダー輸送の利用促進

トレーラーシャーシ等の効率的運用方策の検討
先進的なビジネスモデル事業の促進

新技術の開発と実用化促進

新技術の実用化を支援する枠組みの創設

- ・実用化初期のリスク対応のための支援
- ・鉄道運輸機構の体制整備

スーパーエコシップ(SES)の普及促進

- ・SESの具体像についての理解の促進
- ・建造コスト低減のための支援
- ・新技術に対応した船員配乗のあり方や船舶検査合理化の検討

これらの基本的方向性を踏まえて、関係者間で、早急に、
具体化のためのアクションプランを策定し、実施